

# 箱根写真美術館 NEWS

## 美術館の基本理念の一つ「五感の回帰」を味わおう！ 箱根写真美術館で貸切ハンモック美術館

この度、箱根写真美術館では事前予約制・30分間の貸切で、2階展示室内にある枝を残した柱にハンモックを吊るし作品を鑑賞できる「ハンモック美術館」の予約を開始します。

箱根写真美術館の建築はハンマウム建築工房の富井正憲、吉田福次両氏により設計されました。無機質な外観とは対照的な温かみのある内観。2階展示室には、枝を残した柱、漆喰、韓紙などの天然素材を多用し、また楕円形の透かしの床面には天の川と星座が写し取られ、天窗から差し込む柔らかな自然光が、独特の浮遊感を生み出す空間になっています。

美術館の基本理念の一つ、五感の回帰。常設展、遠藤桂 富士山～大地の鼓動と自然の息吹～の幻想的な自然美をご覧頂きながら、感覚を研ぎ澄まし、無になれる時間、自分と対話する時間、自然と対話する時間をお楽しみください。

●期間：2022年9月1日～

●利用可能時間：12:00～17:00のうち

30分を1枠として予約。（午前中は通常観覧のみ）

●貸切料金：30分2000円。（2名まで同料金。3名以上の場合は超過人数分の入館料(大人500円)が必要です。

※1グループでご利用可能ですが、ハンモックは最大2基となります。

●予約方法：公式ホームページまたはお電話にて当日まで受付可。



利用イメージ

※重量制限 80kg/1台

※ご利用に際し、注意事項を遵守ください。

遵守いただけない場合は退出していただく場合もございます。

※安全確保の為、監視カメラ作動しています。

### 『小さな美術館』

敷地は箱根早雲山の北斜面に位置し、対面に大文字焼きの明星ヶ岳を望む。（中略）写真展示のギャラリー、撮影のスタジオ、ワークショップ、それに宿泊をも兼用する100Fほどの小さな写真美術館を増設する。展示は写真のみではなく、花や人形など他の分野とのコラボレーションも企画しているために、壁面の他に、ディスプレイ用のカウンターが必要とされた。鑑賞のスタイルも立式と座式を併用できるようにカウンターの高さに配慮が求められた。また、滞在して鑑賞する人にはハンモックを吊ってゆっくりと楽しんでもらうために、柱にひっかかりの枝を残した。（中略）

『楕円・天の鏡』楕円は卵のアナロジーであり、その形象は幾何学の中に宇宙の生気を吹き込む。2階の床は松島の五大堂に架けられた透かし橋のような、目透かしの粗板張りである。ギャラリーには更にその粗板に穴を彫り抜き、天の川と星座を写しとっている。天の鏡に見立てた透過する床を、宇宙との交換の場に昇華させるのが狙いである。

文章：富井正憲／資料（新建築 住宅特集2002／8月号掲載/初出）